

事務事業名	伝統人形芝居振興事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	S59 終了		
H29作成課等名	文化会館	H29係等名	人形劇のまちづくり係		H28担当課等名	文化会館		
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
	施策	63	地域資産の保存・継承					
目的	対象(誰・何を)	①今田人形座及び黒田人形座 ②人形座が保存されている地元中学生(竜峡中、高陵中)		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①人形浄瑠璃を上演できるようにする。②技術を学び継承する。			①人形座数	2		
	向上させたい上位施策の成果指標	地域資産を保存・継承していく人数			②地元中学生(竜峡中、高陵中)数	45		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	①上演回数		20	15	20	29	
	成果指標	②人形浄瑠璃を学ぶ中学生の数		45	50	50	45	
定性目標								
事業概要	<p>今田人形、黒田人形の伝統人形浄瑠璃を保存伝承するために、それぞれの保存会が行う研修活動、後継者育成を目的とする地元中学校への指導活動を支援する。 また、今田人形、黒田人形に加え、早稲田人形(阿南町)、古田人形(箕輪町)の伊那谷4座が協働して研修や公演を行うため「伊那人形芝居保存協議会」の活動を支援する。 飯田市が伊那人形芝居保存協議会の事務局を担当するのは、H25～28の4年間。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 後継者育成の取り組み (1)高陵中学校(黒田人形)、竜峡中学校(今田人形)への指導(謝礼の支出) 2 上演・稽古等の施設の管理 (1)地元の管理運営委員会へ指定管理(委託料の支出) 3 伊那人形芝居保存協議会の合同研修 (1)義太夫、三味線、人形操りの研修を四座で実施(旅費・謝礼等の支出)			1 (1)稽古日数 2 (1)管理施設数 3 (1)研修回数		1 (1)63日 2 (1)2施設 3 (1)5回		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	4,491	4,159	3,407	0	(そ)地域伝承活動事業負担金 500千円 (そ)三菱UFJ信託地域文化財団助成金 300千円			
国庫支出金	1,000							
県支出金								
起債								
その他	500	1,500	800					
一般財源	2,991	2,659	2,607					
人件費計(千円)②	261	261	261	0				
正規職員所要時間	70	70	70					
臨時職員所要時間	10	10	10					
総事業費①+②	4,752	4,420	3,668	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	黒田人形、今田人形の座員が、他の座と連携しながら技術を磨き、公演や、後継者への指導を行うことによって伝統人形芝居を保存・継承できるよう、事務局としてサポートをした。							
改革改善の考え方	①問題点	後継者の育成が課題である。						
	②改革提案	技術向上への支援を行い、上演活動、学習活動、PR活動を通じて啓発に取り組む。また、地元を始め「人形劇のまち運営協議会」や「いいいだ人形劇センター」などと連携した活動の展開を支援していく。						